

平成17年(2005年)1月1日発行

専門職大学院正式に認可

4月開設 技術革新に対応する実践的教育を目指す



神田キャンパス専門職大学院研究室

社会人に便利な学習体系と環境 3つのコースで「技術経営力」を身につける

文部科学省に設置認可を申請していた本学大学院技術経営研究科(専門職大学院)が、今年4月1日に開設される。

本MOTの特色は次の通りである。①社会人の学習に便利な授業体系、環境を実現していること(キャンパスは東京神田・地下鉄神保町駅前)にあり、授業は平日夜間および土曜日に行う。しかも1年間という短期間で効果的に学習すること。技術経営修士(専門職)の資格を取得できること。②中小企業の様々な分野で働く社会人が学習できる。③前記の特色を確実に実現するために、豊富な実務経験を持ち、これらの経験を実践的な知識や技術として体系化し、「知恵」として社会人を教育できる優秀な教員を揃えたこと。④1年間に必要な納付金を出来る限り低額に抑え(入学金30万円、授業料140万円)、しかも最高170万円までの奨学ローンを利用できるようにしたこと等。

保町駅前)にあり、授業は平日夜間および土曜日に行う。しかも1年間という短期間で効果的に学習すること。技術経営修士(専門職)の資格を取得できること。②中小企業の様々な分野で働く社会人が学習できる。③前記の特色を確実に実現するために、豊富な実務経験を持ち、これらの経験を実践的な知識や技術として体系化し、「知恵」として社会人を教育できる優秀な教員を揃えたこと。④1年間に必要な納付金を出来る限り低額に抑え(入学金30万円、授業料140万円)、しかも最高170万円までの奨学ローンを利用できるようにしたこと等。

経験豊富な6名の実務家教員を配し、実例紹介やケーススタディで指導

教授陣は、別表のように、専任14名、兼任(非常勤)が17名で、専任教員のうち6名が豊富な実務経験を持つ、いわゆる実務家教員であることが特長である。

「社会人の積極的な入学を期待」開設準備室長の村川教授語る

開設準備室長の村川教授は次のような抱負と期待を述べている。「MOTでは技術開発のセンスを養うだけでなく、それを実際の経営にどう結びつけていくかの能力とセンスを併せ持つ人材を育てたい。社会人の方は是非この趣旨に関心を寄せて積極的に入学され、自らのキャリアアップを図る事をお勧めしたい。」

年頭の辞 時代を見つめ、テクノロジーを見つめよう。

新しい年、2005年を迎えました。学生諸君はどのようなお正月を迎えたいでしょうか。家族と過ごした、あるいは旅先で初日の出を拝んだ、あるいは実験や研究のために正月は返上したという諸君もいたことでしょうか。

昨年は相次ぐ台風による水害、そして新潟県中越地震に見舞われた年でした。今も、復旧に向けて苦勞をされていらっしゃると思います。一日も早く穏やかな暮らしが戻ることを祈念いたします。

昨年、2005年を迎えました。学生諸君はどのようなお正月を迎えたいでしょうか。家族と過ごした、あるいは旅先で初日の出を拝んだ、あるいは実験や研究のために正月は返上したという諸君もいたことでしょうか。



学長 柳澤 章

野球といえば、日本に目を向けると、球団のオーナー企業としてIT産業が躍り出ました。この出来事は、社会にIT産業の存在感を強く印象づけたとともに、鉄道会社などの撤退の表明には驚かされましたが、時代の流れなのでしょう。

このような時代の変化の中に、探求すべきテーマがある。あるいはビジネス・チャンスというものが、次々と見つかるのではないのでしょうか。技術を志す人の中には、自分の世界に入り込みがちになってしまっている人もいますが、それぞれの技術分野から社会を見つめることによって、その技術が担っている役割、果たすべき課題、時代が抱える問題の解決に期待されていることが何かと見えてくるのです。

日本工業大学専門職大学院教員一覧(順不同)

注記) ⑧は実務家教員を示す。専任教員は全員が表中の科目以外に「技術経営プロジェクト研究I」および「技術研究プロジェクト研究II」を担当する。

Table with 8 columns: 専任又は兼任の別, 職名, フリガナ氏名, 担当授業科目, 現職または主たる経歴. It lists various faculty members and their roles in the university's graduate programs.

新年おめでとうございませう。昨年一年を振り返って、特に印象に残るのは、やはり自然災害のことでしょう。台風は日本列島に10個も上陸し、全国に大きな被害をもたらしました。特に新潟県では10月20日の台風23号に加え、23日には中越地震が襲い、長岡市・小千谷市を中心とした県内各地の被害は甚大なものでした。新潟県内での死者は40名に達し、全壊・大規模半壊を合わせた3千3百余りの家屋が居住できない状態になりました(11月末現在)。冬の寒さ厳しい中であって、災害復興に携わる皆様のご

この専門職大学院では、5年程度の実務経験を積んだ社会人を対象に入学を選抜し、1年間で34単位以上を修得、技術力に加え高度な経営力を持つ「技術経営修士(専門職)」を取得させることを目指します。学園はこれまで、日本の産業社会において、独創的で実際に役立つ技術者の育成を目指して参りました。このような学園の考えを継承しつつ、新しい試みである専門職大学院においても、新たな時代を切り開く技術系の経営者育成を中心に力を注いでゆくとともに、災害復興に携わる皆様のご

●年頭所感●
専門職大学院開設へ
-1年間で「技術経営修士」取得-

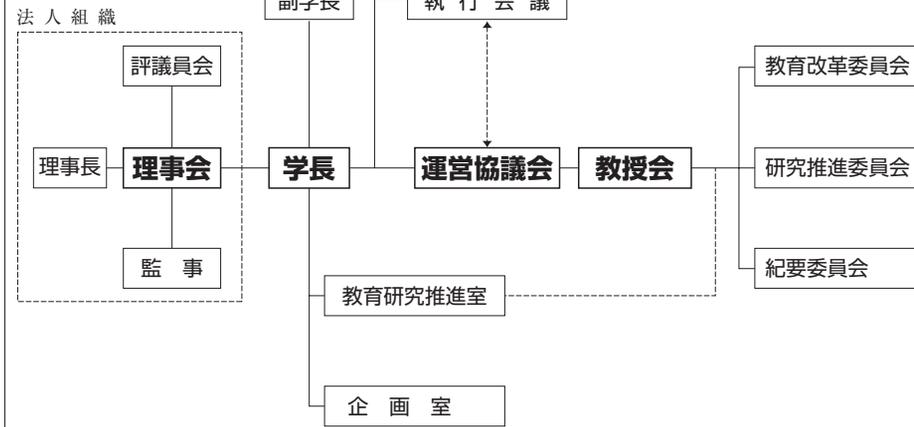


理事長
大川 陽康

苦勞を思うと胸が痛みます。一方で、ボランティアとして復興支援に参加されている皆様や義援金を寄せられた多くの方々に対して、日本人の暖かいお気持ちを感じ心温まりました。日本工業大学でも、新潟県からの受験者や入学者に對し、受験料と入学金の免除措置等を講じました。

さて、学園は平成19年6月29日の学園創立記念日をもって、創立百周年を迎えます。その記念事業のひとつとして、平成17年4月1日より神田に専門職大学院の開設を計画し、文部科学省からは昨年11月30日付で設置の認可を受けました。

新運営組織



本学の新運営組織

1月1日よりスタート!

新組織の特色は、組織運営を大学の将来計画に向けて戦略的かつ大局的に取り組む布陣としたことである。以下に、それぞれの組織についてやや詳しく説明する。

将来計画に向かって戦略的・大局的に取り組む
教育研究推進室新設。企画室改組

波多野教授就任
従来、教育研究委員会という組織があったが、執行機能を持っていなかった。新体制では従来の教育研究委員会を、教育改革委員会、研究推進委員会の2つに分け、教育と研究という立場を明確化した。その上に執行機能を持つ教育研究推進室を新設し、機能を充実させる。

企画室長に副学長・原教授就任
企画室は大きく変化する。新しい企画室は「本大学にその教育研究、管理運営に関する企画立案及び広報活動において、学長の職務執行を補佐する目的をもって、

野村教授が就任する。野村教授は「本大学にその教育研究、管理運営に関する企画立案及び広報活動において、学長の職務執行を補佐する目的をもって、

野村教授が就任する。野村教授は「本大学にその教育研究、管理運営に関する企画立案及び広報活動において、学長の職務執行を補佐する目的をもって、

野村教授が就任する。野村教授は「本大学にその教育研究、管理運営に関する企画立案及び広報活動において、学長の職務執行を補佐する目的をもって、

野村教授が就任する。野村教授は「本大学にその教育研究、管理運営に関する企画立案及び広報活動において、学長の職務執行を補佐する目的をもって、

本学の新しい運営組織について、柳澤学長を中心として検討が進められていたが、このほど成案が固まり、1月1日より実施されることになった。新組織をスタートさせる直接的きっかけは2002年に実施した自己点検評価であるが、これに加えて、従来学内各方面から出ていた意見や提言を加味して作成したものである。

運営協議会
従来の運営委員会を改組し、メンバーに新しく設定された企画室長、教育研究推進室長、それに学内理事を加えた。従来の運営委員会では、教授会にかけられる議事の事前審議が大きな比重を占めていたが、新しい運営協議会では、大学の長期的運営について審議する役割を強化する。

本学の特色を
中・長期的視点で伸ばす
柳澤学長、新組織の意義を語る
今回の新組織について、ついでにこのことについて、柳澤学長は次のように述べている。

中国技術学院と学術協定再締結
柳澤学長は、昨年11月26日から30日にかけて、建築学科の波多野・黒津両教授とともに、中国技術学院(中華民国)を訪問した。これまで同学院とは、歴史的建造物の再利用をテーマに学術交流を行ってきたが、今後の研究分野でも相互交流を目指し、11月29日に学術協定を締結した。

新奨学金制度スタート

学業優秀者、緊急救済等に配慮

平成17年度新入生以降の学生を対象に、学内奨学金制度が大幅に改定される。以下に紹介するが、これらは、入学前に募集するものと入学後、1年を経過しないと出願できないものがある。それぞれの特長を把握して、大いに活用してほしい。

【入学前の選考】
①特別奨学生(給付)
高等学校工業科を平成17年3月卒業見込みの者を対象として、本学の学風の高揚と広く学術文化の発展を促すにふさわしい人物を採用するもの。

【入学後の選考】
②学業奨励奨学金(給付)
授業料、実験研究費及び施設設備拡充費の半額免除(学費の減免として給付)。入学年次のみ。

【奨学金】
50万円(学費の減免として給付)。入学年次のみ。
【採用人員】
各学科2名、計10名

【奨学金】
50万円(学費の減免として給付)。入学年次のみ。
【採用人員】
各学科2名、計10名

システム工学科50名
定員増認可される

システム工学科は「ものづくり」に必要な部品・材料・機能などの要素技術を目的に沿ってまとめ上げ、人々の感性にもかなうデザインセンスなども加味して

システム工学科は「ものづくり」に必要な部品・材料・機能などの要素技術を目的に沿ってまとめ上げ、人々の感性にもかなうデザインセンスなども加味して

システム工学科は「ものづくり」に必要な部品・材料・機能などの要素技術を目的に沿ってまとめ上げ、人々の感性にもかなうデザインセンスなども加味して

日本工業大学 平成17年度入試日程

日本工業大学 工学部
●機械工学科 ●電気電子工学科 ●建築学科 ●システム工学科 ●情報工学科

	出願期間	試験日	試験内容	合格発表	入学手続締切
一般入試	1月7日~2月5日	2月12日	・数学I、II、数学A(「数と式」のみ)	2月21日	2月28日
		2月13日	・物理IB		
		2月14日	・英語I、II、リーディング (受験日自由選択制) ※上記のうちから任意の2科目を選択		
社会人入試	1月7日~1月19日	2月14日	小論文及び面接 書類審査による第1次試験の合格者のみ受験可能。第1次試験の合格発表は1月22日	2月21日	2月28日
帰国子女入試	1月7日~2月5日	2月12日	書類審査及び面接	2月21日	2月28日
AO入試(第3期)	2月21日~2月26日	3月5日	面談、課題への取り組み	3月11日	3月18日

日本工業大学 大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程
●機械工学専攻 ●電気工学専攻 ●建築学専攻 ●システム工学専攻 ●情報工学専攻

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集!(日本工業大学 社会人特別選抜)

■平成17年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	出願期間	試験日	試験内容	合格発表	入学手続締切
二次募集	2月14日~2月22日	2月28日	書類選考・面接	3月5日	3月11日

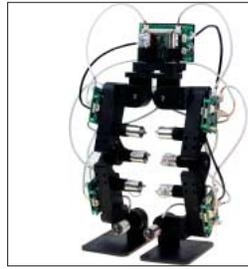
願書のご請求およびお問い合わせ先: 教務部教務課 大学院入試係 TEL0480-33-7507(直通)

願書のご請求およびお問い合わせ先
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 日本工業大学教務部 入試室
☎0120-250-267 TEL: 0480-33-7676 (直通)
URL: http://www.nit.ac.jp/ E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp

教育研究設備整備費等補助金内定 充実する教育環境

平成16年度私立大学等研究設備整備費等補助金の交付が次の通り内定した。これらは今年度中に導入され、来年度からは、さらに充実した学習環境が整う。

- 情報設備
「二足歩行ロボットによる工学技術教育のための情報処理設備」機械工学科・中里裕一助教授 [事業経費=30,926,700円/補助金内定額=13,198,000円]
「デジタルデザインによる建築設計教育用ハードウェア」建築学科・波多野純教授 [事業経費=44,278,868円/補助金内定額=18,897,000円]
- 研究設備
「ナノ・マクロトライボロジー評価設備」システム工学科・三宅正二郎教授 [事業経費=39,900,000円/補助金内定額=23,940,000円]
- 教育装置
「二足歩行ロボットによる工学技術教育実習



機械工学科・中里研究室に導入される二足歩行ロボットe-nuvo (C) ZMP INC.

装置」機械工学科・中里裕一助教授 [事業経費=40,150,740円/補助金内定額=20,075,000円]

●情報施設
「一般教室映像情報提示システム」渡辺勝彦 教務部長 [事業経費=30,156,000円/補助金内定額=15,078,000円]

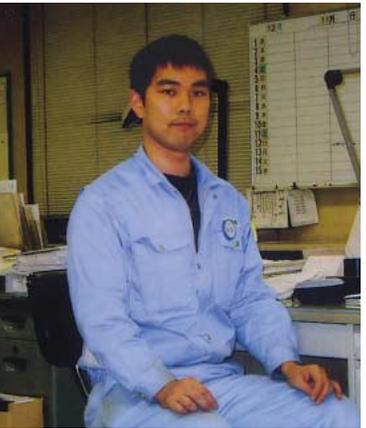
なお、これら以外に「教育研究用ソフトウェア」補助金として「流動回析ソフトウェア F LUENT」(機械工学科・横谷真一郎教授)をはじめ9件、補助金総額39,958,000円が既に採択決定している。

近事片々

東京工業高等学校機械科から工学の世界に入り、システム工学科土屋研究室で建築工学を学んだ卒業後ケミカルポンプメーカーに入社し、5年目の2004年2月に私が開発した「マジックポンプ」で茨城県中小企業振興公社から工業技術開発奨励賞を受賞した。

従来、一般的なポンプに使用されているメカニカルシールやランドパッキンは、ポンプの運転中には摺動しており消耗品として扱われている。マジックポンプの理論は、ポンプの運転中は特殊インペラの回転で液体パラスを作り出し液体をシールする。この時、シール部は磁力により浮上しており非接触の状態とな

先輩だより



マジックポンプの開発で受賞

平田 良介
(東京工業高等学校出身)
システム工学科第21期生
自動車铸件(株) 铸造技術部

る箇所が無い。その結果、ポンプが今まで不意としていた砂や泥等異物が混入したスラリー液の移送が可能となった。この理論を発見して試作品を作った時、最初に関心を示したのは社長と

浴びたが、失敗もたくさんあった。理論上は半永久的に故障しないポンプなのだが、設備や条件によりシールが壊れポンプから液体が漏れ出し、お客さんの設備を停止させた事もしばしばあった。

会社も良い勉強となった。その後、品質が安定してきて、今まで機械加工で生産していたのを、台湾で金型を製作し成形による大量生産に移行した。この仕事が一段落したのをきっかけに違う分野

結果論ではあるが、実験データが不十分であるうちに販売してしまったため、当初想定もしていなかったような条件で使われてトラブルを出してしまつたのである。いろいろと大変であったが私も

でたくさん経験の積み重ねと思ひ転職することにした。2004年4月、土浦に本社がある自動車铸件(株)の铸造技術部に再就職した。主な仕事内容は、自動車のバスやトラックの铸件部品の発注業務や铸件の設計である。自動車業界は変化のスピードが速いため、きちんと手順をふんだ効率的な仕事が求められる。現在、まだ1年目で覚える事がたくさんあり、今は毎日が勉強である。最後に後輩の皆様へのメッセージです。

「失敗を恥ずかしいと思わず、常に物事に疑問を持ち、自分が納得するまで突き詰めて行けばきっと結果は出ます。そしていつまでも学ぶ姿勢を持ち続けてもらいたいと思います。」

大木吉甫理事に瑞宝中綬章



本学の大木吉甫名誉教授が、昨年11月、瑞宝中綬章の栄に浴した。同教授は、前任の東京学芸大学と本学において、フランス語教育に尽力した

けでなく、長年に渡り、日仏間の異文化関係を考察し我が国にフランス文化を数多く紹介してきた功績が評価されたものである。同教授は、平成15年にフランス共和国文部省より学術教育功労勲章オフィシエ章を授章しており、引き続いての栄誉となった。

院生の関根吾朗君が、精密工学会でベストプレゼンテーション賞



大学院機械工学専攻博士前期課程2年の関根吾朗君(栃木県足利工業高校出身)が、昨年10月精密工学会秋季学術講演会でベスト

プレゼンテーション賞を受賞した。発表は、10マイクロメートルの世界最小のマニピュレータをテーマにしたもの。同賞は企業や大学若手研究者を対象に授与される賞で、院生での受賞はまれ。秀逸な内容と巧みな発表が評価された。

中越地震に対する お見舞いと対応

新潟県中越地震に被災された皆様からお見舞い申上げます。

大学として、どのような救済ができるか検討し、次の様な対応措置をとることと致しました。少しでもお役に立つことを祈念し、ご案内します。不明な点は、ご遠慮なくお問い合わせください。

- ◆被災された新入生に対する特別措置
新潟県の被災証明を提出
【窓口】学生課
- 赤倉山荘 新潟県中頸城郡妙高高原町赤倉588-29
【宿泊費】無料、食費実費(朝夕千円)【長期オープンカレッジ】8,200円
- ◆大学の施設利用のご案内
現在も余震を心配しながら避難所や車内等で過ごしておいでの方に、ゆっくり過ごしていただける様、次の大学施設を開放致します
在まだ集めていますが、11月の若杉祭開催時に、生涯学習センターの陶芸教室の売上等を寄付しました。
- ◆義援金
大学としての義援金は現在まだ集めていますが、11月の若杉祭開催時に、生涯学習センターの陶芸教室の売上等を寄付しました。

国際交流 南台科技大学・ノッティンガム大学来訪



昨年11月12日、南台科技大学(中華民国・写真上)の張信雄校長ほか5名の教員が本学を訪問した。これまで同大学とは、教員の相互交流や学生の短期研修受け入れ等を実施しており、柳澤学長と大学院生の交流について意見交換を行った。

同日、ノッティンガム大学(英国・写真下)のリ教授も訪問。同教授は環境と建築との共生を研究しており、太陽光発電システム等、本学の環境への取り組みについて視察を行った。

エコ・ミュージアムの実現に向けて 5年目の環境マネジメント活動

代表環境管理責任者 竹内淳彦

昨年10月より平成16(SO-5)年度がスタートした。今年度の活動は、これまでの実績を踏まえながら、より大きな成果を得るものとしていきたい。

環境教育検討部会(部会長 成田健一教授)を中心に検討されているものであり、「見て」「触って」「試す」ことにより、環境を学び、研究する仕掛けを継続して整備していくことである。

第1次整備対象項目は、最も身近で大勢の学生や市民の目に触れやすいものとして、「本館の耐震補強」、「エネルギーラインの地下化」と中央監視システム、「池水の循環」、「再生プラスチック

エネルギー・資源の削減及び有効利用、廃棄物処理化学物質管理などの体制はほぼ確立している。活動の柱は、すでに前年度から取り組んでいるキャンペーン全体のエコ・ミュージアム化の積極的展開である。これは、

この計画を成功させるために教職員各位の積極的な協力を頂きたいと思っている。さらには、学生諸君も大いに勉強し、参加することを期待している。

エコ・ミュージアムで取り組むべき課題は無限にある。この計画を成功させるために教職員各位の積極的な協力を頂きたいと思っている。さらには、学生諸君も大いに勉強し、参加することを期待している。

あけましておめでとうございます。皆様にとって、今年1年が素晴らしい年になりますよう、心から祈りいたします。

昨年は、アテネオリンピック、そしてパリンピックが行われ、連日のメダルラッシュに日本中が沸き返りました。また国内では、埼玉県の彩の国まごころ国体が開かれ我が宮代町でも4日間競技会が行われました。全

国から集まったトップレベルの選手達の競技は、そして今年1月、その町

Town & Campus

「木造新庁舎」

た4日間でもありました。まさに、宮代町が掲げる町民参加のまちづくりが実を結んだ大会でありました。

11/5) / 目的=12th International Congress on Plasma Physics (Oct25-29, 2004)にて論文発表

◆星野坦之教授(システム工学科) / 出張先=米国(10/29-11/7) / 目的=第20回デジタルプリンティング技術国際会議での論文発表及び座長

◆北久保茂助教授(システム工学科) / 出張先=米国(10/31-11/7) / 目的=第20回デジタルプリンティング技術国際会議での論文発表及び座長

◆田村仁講師(情報工学科) / 出張先=中国(11/2-8) / 目的=华中科技大学での組込みシステムの指導方法の打合せおよび担当教員への指導

◆小林哲二教授(情報工学科) / 出張先=米国(11/7-13) / 目的=ICCN2004国際会議にて論文発表

◆丹澤洋助教授(機械工学科) / 出張先=英国(11/21-26) / 目的=2004European Wind Energy Conference & Exhibitionにおける論文発表

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。

編集後記

▼新年明けましておめでとうございます。昨年は、自然災害による被害がありました。被災された方々に改めて心よりお見舞い申し上げます。さて、年が明け、本年は西暦2005年です。俄か知識がありますが、西暦と文字が似ていることもあり方から金運をもたらすものがあるのでは、是非あやかりたいものです。▼学園創立百周年事業として位置付け、文科省へ申請中であった専門職大学院が11月30日付で認可され、本年4月1日から開設される運びとなりました。詳細は、本号紙面に譲るとして、これは学園としての次世代である、これからの100年を平成19年に迎えるにあたり、さらなる工業技術教育の理想を求めたものであるとご理解いただきたいと思います。